



## 青春のぬくもり

「厚木に來ると、友人の家に遊びに來たような気持ちになる」  
新しい年の始まりを祝うように、あでやかな着物に身を包んだ名取裕子さん。芸能の世界で幅広く活躍する大ベテランは、高校時代を厚木の地で過ごしました。  
年内に公開される市制70周年を記念した映画「キリコのタクト」『YELL』に出演。昨夏の撮影では、出演する市民らとの交流を楽しみました。思い出の地を「都心から近いのにゆったりと過ごせる場所」と語る名取さん。ロケの合間には自然の中でマス釣りを楽しみ、「厚木っていいじゃん」と柔らかな笑みを浮かべました。  
《4・5面に関連記事あり》

### 【プロフィール】

1957年生まれ。厚木高校出身。77年、テレビドラマ「おゆき」で俳優デビュー。映画やテレビ番組などで活躍。主演映画「テレビショッピングの女王 青池春香の事件チャンネル」が2月6日に全国公開。





厚木王子高校ソフトボール部

島津リノ(18)

みんなでつかんだ日本一

## プロフィール

2007年生まれ。広島県出身。厚木王子高校ソフトボール部に所属し、外野手・投手として活躍。2025年夏のインターハイでの活躍により、10月に開かれたソフトボール女子U18ワールドカップの日本代表に選ばれた。



大会優勝後、肩を抱き合い喜び選手たち



書道アーティスト

遼太郎(Ryotaro)(29)

思いを筆に乗せて

## プロフィール

1996年生まれ。北小・藤塚中学校出身。東京2020応援プログラム芸術祭「25th OASIS 2020 Osaka & TOKYO」で展示作品に選ばれる。作品は虎ノ門ヒルズビジネスタワー(港区)に展示中。アーティストとのコラボや展示会への出展、書道パフォーマンスなど幅広く活躍。



展示会での書道パフォーマンス

**辛** いこともあったけれど、みんなが日本一になって良かった。選手たちの、はつらつとした声が行き交うグラウンド。厚木王子高校の島津リノさんは、投打で活躍した7月のインターハイ優勝を笑顔で振り返る。

**頂点を目指し神奈川へ**

広島県で生まれ育った島津さんは小学1年生の時、兄の影響でソフトボールチームに入団。「捕って投げるのが楽しかった」と夢中で白球を追い駆ける日々を過ごした。中学生になると、高いレベルを求めて自宅から離れた学校へ進学。2年時には、全国大会で3位の成績を収めた。卒業後の進路を決める時、監督の勧めで厚木商業高校(当時)を見学した島津さん。全国大会を制した選手たちのプレーや熱気を目の当たりにして、「かっこいい。私もここで日本一を目指したい」と胸を弾ませ、

入学を決めた。

2023年4月、神奈川県での新生活がスタートした。学業や部活動との両立で苦労したが、仲間や先輩などのサポートを受けて毎日の練習に励んだ。試合には1年生から出場し、順調に経験を積んだが、2年生春の試合中に他の選手と交錯。靱帯断裂の大きな怪我を負って、半年間プレーできない日々を過ごした。「悔しい気持ちがあったけれど、周りの人の声を支えに乗り越えられた。辛い日々を耐え抜き、翌年1月に復帰を果たした。

**念願の舞台で躍動**

高校生活最後の春。インターハイを目指す戦いでは、初戦から持ち前の打力が火を噴いた。決勝まで、相手に一度もリードを許さず勝ち星を重ねた。しかし決勝戦の直前、アクシデントが起きた。エース投手が負傷して、島津

さんがマウンドに立つことになったのだ。「公式戦では初めての登板。今までで一番緊張した」。試合では、序盤から、相手打線につかまり先制を許した。苦しい展開が続くも、仲間が取り返して延長戦に突入した。「インターハイに必ず行く」。奮起した選手たちの思いが一つとなって逆転し、念願のインターハイの切符をつかんだ。

「全国大会は楽しく投げられた。勢いに乗った島津さんは、全国初戦で完全試合を達成した。チームも波に乗り、決勝ではタイブレークの末にサヨナラ勝ち。悲願の日本一を勝ち取り、チームメイトと肩を抱き合って喜びを分かち合った。

大学でもソフトボールを続ける島津さん。「厚木王子高校で学んだことを生かして活躍したい」。これまで培った自信と自らの武器を磨き続け、次のステージに向けて歩を進める。

**黒** 地に金がきらめく衣装に袖を通し、自分で染め上げた帯を締める。大きな筆が墨を吸い込み、思いのままに紙を彩っていく。「衣装も含めて作品だ」と話すのは、書道アーティストの遼太郎さんだ。

**表現との出会い**

書道との出会いは小学3年生の時。友人に誘われ、教室に通い始めたのがきっかけだった。初めての書道に胸を高鳴らせながら、筆の持ち方や座り方などの基礎を学んだ。厳しい指導と一緒に始めた友人は辞めてしまったが、遼太郎さんはうまく書けない文字が書けるようになる楽しさや、級・段位が上がる面白さに魅了されていた。

6年生で通った新たな教室では、感情や情景を文字で表現する大切さを教わった。「教科書通りに書くだけが正解ではない」と、新しい世界観に驚き、さらに書道にのめり込んだ。書道の奥深さに気付かされた遼太郎さんは、作品の制作に力を入れ、展示会への出展

を始めるなど秘めていた可能性を広げていった。

**心に響く作品を**

一つの作品を作り上げるのに、1年から2年ほどの時間をかける遼太郎さん。何度も何度も書き直し、パズルのように一画ずつ組み合わせる思いを詰め込んでいく。「作品に込める表現や気持ちは、いろいろなものに触れ合って生まれる」。日常生活やふらっと訪れた土地の景色などからインスピレーションを受け、作品につなげている。

「文字・文字が組み合わせられて完成した作品を見た時、自分でも驚くことがある」と楽しそうに話す。

書道アーティストとして転機が訪れたのは2020年、東京オリンピックの応援プログラムとして開催された芸術祭への参加だった。もともと制作していた作品の「響動」という言葉が大会の歓声や人々の感動にぴったりと感じ、作品を応募。世界中から集まった約二万点の中から審査を通過し、多

くの人の目に触れることになった。遼太郎さんは「著名な芸術家も多く出展していた中、選ばれてうれしかった。恩師に喜びの報告ができた」と振り返る。以降、アーティストとのコラボや東京での展示会などに声がかかるようになり、活動の勢いは増していった。

**筆が紡ぐ縁**

「こともたちに書道を通じて、夢を思い描くきっかけを与えたい。自分の作品の魅力はメッセージ性の強さだと話す遼太郎さん。全国の小・中学校で書道パフォーマンスや講演会の他、市内でも展示会開催などを通じ、アートとしてだけでなく人の心に寄り添う言葉として書を届けている。

「いろいろな情報があふれる中、自分のやりたいことが不明瞭になっている人が多いと思う。自分の作品や言葉で背中を押すことができればうれしい」。笑顔を見せる遼太郎さんは、これからも筆に思いを乗せて作品を書き続ける。



格闘家ムエタイ選手

大田拓真(26)

憧れたリングで夢をつかむ

## プロフィール

1999年生まれ。南毛利小・中学校出身。新興ムエタイジム(中町)に所属。右ミドルキックを得意とするムエタイ選手。[WBCムエタイ世界フェザー級王座]をはじめ、[NJKFフェザー級王座]など数々のタイトルを獲得。現在、[ONEチャンピオンシップ]に出場するなど世界の舞台で活躍中。戦歴は44戦33勝(10KO)。



世界チャンピオンが誕生した瞬間

**リ** ズムを刻むようにステップを踏み、相手との間合いを静かに探る。目にも止まらぬスピードで繰り出されるキックやパンチが、漂う緊張感を切り裂き、衝撃音を響かせる。金色に輝くベルトを掲げるのは、格闘家の大田拓真さん。昨年、後楽園ホールで開かれたタイトルマッチを制したWBC(世界ボクシング評議会)のムエタイ世界フェザー級チャンピオンだ。

**悔しさを力に**

幼い頃から正義のヒーローに憧れ、戦いごっこが好きだった。競技を始めたのは小学5年生の時、格闘技が好きで父と一緒にテレビで試合を見たことがきっかけだった。「リングの上で戦う姿がかっこいい」と心を打たれ、挑戦したいと父に頼んだが許されなかった。熱意を何度も伝えるうちに「やるなら中途半端ではなく、しっかりとやいなさい」と背中を押され、自宅近くのムエタイのジムに通い始めた。

ジムでは週2回の練習からスタート。攻撃が痛くて泣いたこともあったが、頼み込むほどやりたかった格闘技

に辛さは感じなかった。初めてリングに上がったのは競技を始めて3カ月の頃だ。試合は、同年代の女の子にボコボコに殴られて惨敗。「とにかく悔しくて、もっと強くなりたかった」と、練習を週6回に増やし、さらに真剣に取り組むようになった。

**見つめ直しさらなる高みへ**

闘争心に火が付いた大田さんは、サンドバッグやミット打ち、スパーリングなどの練習にひた向きに打ち込んだ。自宅でもトレーニングを重ねると、6年生で初めてタイトルを獲得。「世界チャンピオンになりたい」。いつしか心の中に大きな夢が芽生えていた。日々の練習に加え、夏休みにはムエタイの本場・タイでの修行を敢行。精神と技術を磨き、大会で実戦経験も積んだ。努力が実を結び、高校1年生でテストに合格。プロの世界に飛び込んだ。

順調な格闘技人生を歩んできたが、この頃、プロとしての意識を自覚できず、競技に真剣に向き合えていない自分がいた。「遊びたい気持ちが強くなり、練習に身が入らなかった」とベル

トを懸けた試合で敗戦し、辞めることも考えたが、「逃げたら今までの努力が無駄になる。父からも一喝を受け、気合が入った」。陰で支えてくれた父の存在で目を覚ました大田さんは、高校卒業後に見事にリベンジを果たした。

**夢の続きに向かって**

「強い相手と戦えることに、わくわくした」。昨年6月、勝ち星を重ねてつかみ取った世界チャンピオンへの挑戦権。試合前の1カ月間にわたる厳しい追い込み練習を乗り越え、ひとときも努力を惜しまなかった大田さんは自信に満ちていた。第3ラウンド、強烈なキックが相手の腹部を捉えた。見事なKO勝利に「幼い頃からの夢がかなった瞬間だった」と笑顔を見せる。チャンピオンベルトと笑顔を手にし、周りの人も自分のことのように喜んでくれた。それでも、「ここがゴールではなく通過点と力を込める」「この座を守り、さらに強い相手が集まる大きな舞台で勝負がしたい」。格闘技に人生を懸けるファイターは、強豪がひしめく新たな戦いのゴングの瞬間を待っている。



厚木から羽ばたく

熱気

このまちで、個性や特徴を生かし、夢に向かって歩み続ける「熱気人」たち。競技や芸術に思いを注ぎ、たゆまぬ努力を重ねる姿は、明るい未来を映し出している。



## 新春対談

仲間と過ごした  
私の原点

## 心に寄り添う

## あつぎ愛あふれるまちに

今回の新春対談では、市内の高校を卒業し、長きにわたって俳優として活躍する名取裕子さんをお迎えしました。厚木で過ごした青春の日々やかけがえのない友とのつながり、市制70周年記念映画への思いなど、これまでの歩みと未来に込める思いを伺いました。

**市長** 明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。今回は長きにわたり俳優として活躍し、厚木市にゆかりがある名取裕子さんをお招きしてお話を伺っていきます。

行った場所や思い出の場所はありますか。

**名取さん** 花火大会はみんなで見に行きました。学校行事の健脚大会で七沢方面に向かって歩いたことと覚えてます。学校終わりに「勉強しよう」と、青少年センターに行つては卓球をして、お腹が減ったらたぬきうどんを食べて帰る。勉強をせずに、みんなで楽しく遊んでいたことばかりが思い出として残っています。

**市長** 厚木にいられたのは久しぶりですか。

**名取さん** 同級生がいっぱい厚木にいて、今でもよくクラス会などで来ています。地元で頑張っている人たちに会うと元気をもらえますね。

**市長** 当時の友人たちとは今でも交流が続いているんですね。

**名取さん** はい、そうです。年に一度は集まっています。仲が良いです。厚木の風土がそうさせるのかもしれないですね。クラスのグループチャットがあると周りに話すと、びっくりされます(笑)。

**市長** 私も先日、同窓会を開いたばかりなので共感できます。

厚木に住んでいる人や離れている人からも、「このまちが好き」と言ってもらえるとうれしい気持ちでいっばいになります。名取さんにとって、厚木はどんな存在ですか。

**名取さん** そうですね。友達の家みたいな感じですが。私も青春をこの地で過ごしたので、「みんなが在るまち」という感じがします。

**市長** 俳優を目指したきっかけを教えてください。

**名取さん** 実は目指していませんでした(笑)。大学に進学後、広告研究会に入り、学内で化粧品会社のコンテストがあるのですが、出場者を探していました。ですが、なかなか見つからずそこに人数合わせで参加したところ、なぜか勝ち残って(笑)。

**市長** そんな経緯があったとは知らなかったです。

**名取さん** 厚高のクラスから8人が同じ大学に進学しました。俳優をやりながら大学を卒業できたのは、講義のノートを取

てくれたり、試験に出そうな問題を一緒に勉強してくれたりと仲間の支えがあったからです。

**市長** 心強いですね。まさに名取さんの原点は、高校時代にあるという感じがですね。

**名取さん** はい。人への思いやりや優しさなど人生の根幹になるところを学びました。母を早くに亡くしたのですが、その頃に出会った友達やその家族たちが優しくしてくれて、お正月に着物を着せてくれたり、お弁当と一緒に作ってくれたりもしました。当時受けた気配りと温かさみたいなものは、大人になってから改めて分かるようになりました。

**市長** その経験が今の名取さんの礎になっているのですね。輝かしい活躍の中で、苦勞もあつたかと思いますが。それを乗り越えてきた秘訣があれば教えてください。

**名取さん** 特別なことはありません。誰かに喜んでもらって笑顔が見られることや誰かの役に立つことってうれしいですよね。市長も市民の皆さんが笑顔で暮らせるように考えていると思うのです。やっぱり私も、笑顔になつて喜んでもらえるのがうれしいなと思っています。

**市長** 映画やドラマでの活躍はもちろん、最近はクイズ番組にも出演していますよね。番組ではいつも、「残ってくれ、残ってくれ」って思っています(笑)。

**名取さん** 早押しは押せないの(苦笑)。クイズは本当に難しいです。受験勉強の時よりも勉強しているのに全然覚えられなくて、でも同世代の方が私の姿を見て、自分たちもまだまだ頑張ろうって思ってくれたらうれしいです。

**市長** 名取さんは、朗読会も定期的に開催し、日本語の持つ力を多くの人に伝えていきますよね。

**名取さん** 全国あちこちで朗読会を開いています。目で見て、耳でも楽しめるように三味線やピアノの音色を交え、歌い手や踊り手の方と一緒に作り上げて

います。見に来てくださった方の笑顔や拍手、笑い声を聞くのが、何よりのエネルギーになっています。

**市長** 厚木でもぜひ開催してもらいたいです。

**名取さん** ぜひぜひ。こどもから大人まで、みんなに楽しんでもいただけるものができたらいいですね。

**市長** 市としても文化芸術の聖地づくりを掲げています。私は「まちは人がつくり、文化芸術は人をつくる」と考えています。朗読をはじめとしたさまざまな活動を通して、市民の皆さまの感性を磨きながら、誇り高い「厚木」を創出していきたい、そんな思いを持っています。

**名取さん** 素晴らしいですね。インターネットで何でも解決できる今の時代だからこそ、美術や音楽の面白さをじかに味わってほしいです。特にこどもたちは、幼い頃から豊かな感性を磨いてもらい、日本だけでなく世界の希望になつてほしいと思います。

**市長** 昨年度、市制70周年を記念した映画「キリコのタクト」(YELLER)の撮影が、市内オーロロケで行われました。名取さんは鈴木京香さんが演じる高校の音楽教師の先輩役として出演されています。高校時代を過ごした地で撮影に臨むことに特別な思いはありましたか。

**名取さん** やっぱ懐かしい気持ちはありました。あの頃と変わらない相模川の河原の雰囲気や喫茶店が印象に残っています。当時はなかった立派な大学が出来ていたのもびっくりしました。ロケ地が行ったことのないすてきなところで、「こんな良い場所があったんだ」って、新たな発見もありました。

**市長** 以前、監督とプロデューサーが作品を市内で上映する際にあいさつに来てくれました。「次は厚木を舞台にした映画を

作ってほしい」というお願いをしたところ、見事に製作していただきました。

**名取さん** 映画になることで、今の厚木の姿の一つの形として残すことができたよね。映像も音楽も含めて、厚木に関係する仲間たちが厚木の魅力を表現した素晴らしい作品になると思います。

**市長** 「厚木が舞台でこんなに素晴らしい映画ができるんだ」と市民の皆さまに誇りに思ってもらえる作品になることを期待しています。

**市長** 昨年、市制70周年を迎え、市民の皆さまと一緒にさまざまな事業を通じてお祝いをしてきました。今後は、次の100年に向けて皆さまとの繋がりをもっと大切にしていきたいと思います。これからも「住みたい」「育みたい」「働きたい」と思えるまち、そして全国、全世界から憧れられる厚木を引き続きつくってまいります。

**名取さん** 人工知能(AI)などのデジタル技術が進歩しているの、これからは若い人の力を借りて教えてもらいながら、人生を豊かに楽しみたいですね。世界が平和であるために、何か一つでも役に立つことができたらいいなと思います。

**市長** 常に目標を持ち、チャレンジを続ける姿勢は、私も見習いたいです。最後に夢を追いかける若者に向けてメッセージをお願いします。

**名取さん** 他者の目線や立場に合わせて、物事を考えられる大きく広い目と心を持つてほしいです。若い世代の柔軟な頭脳と心があれば、何でも吸収できると思います。可能性をたくさん持っている人たちだと思おうので、やりたいことにバリバリ挑戦してもらいたいです。



厚木市長

山口 貴裕

俳優

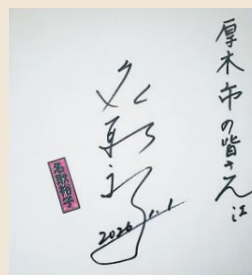
名取 裕子

## 心が温まる

## 「みんなが在るまち」



## 名取裕子さんのサイン入り色紙をプレゼント



**対象** | 市内在住の方5人  
市公式LINEの応募フォームまたはハガキに色紙希望の旨、〒住所、氏名、電話番号を書き、1月30日(必着)までに〒243-8511広報シティプロモーション課 ☎225-2040へ。抽選。  
※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます(2月発送予定)。



申し込みはこちら



## 小泉今日子さんが読書の魅力を伝える

講演会「My Sweet Home Atsugi～本のこと・わたしのこと」を開催



著書の朗読や参加者からの質問に回答

市出身の俳優・文筆家の小泉今日子さんを迎えた講演会を、11月に文化会館で開きました。参加者たちは、小泉さんの本にまつわるエピソードや朗読に耳を傾けました。

大ホールを埋め尽くす盛大な拍手に迎えられ、小泉さんが登壇。自身が小学生の頃に書いた作文を読み上げながら、今の気持ちや当時の思い出を紹介しました。他にも、読書が仕事や人生に与えた影響などを、ユーモアを交えて語りました。

参加した関口久美さん(55)は「厚木の昔の地名や思い出を話す姿が印象的。気になった著書も読んでみたい」と笑顔を見せました。

講演の様子は中央図書館で上映するほか、市公式YouTubeでも公開します。

## 会場が絵本の世界に

絵本作家きむらゆういちさんが子どもたちに読み聞かせ

「あらしのよるに」や「赤ちゃんのあそびえほん」シリーズで知られる絵本作家・きむらゆういちさんによるワークシヨップと読み聞かせを11月、厚木シテイプラザで開催しました。親子連れなど131人が訪れ、イベントを楽しみました。

イベントは、市児童館合唱団による合唱でスタート。きむらさんの作品にちなんだ曲に乗せた歌声が、会場を温かく包み込みました。ワークシヨップでは、紙や輪ゴムなどを使い、絵本にも登場する「ガブとメイのぼうし」などのおもちゃを作成。子どもたちは夢中で工作を楽しみました。

読み聞かせが始まると会場が絵本の世界に一変。こどもも大人も、優しい声で届けられる物語に引き込まれました。



こどもたちに工作を教えるきむらさん



## 市内を巡り、魅力を再発見

「厚木よりみちビンゴ」を開催中

温泉やグルメなどを巡るまち歩きを楽しむながら、厚木の魅力を再発見してみてください。

ビンゴカードは「本厚木駅前編」と「温泉郷編」の2種類を用意し、本厚木駅や七沢の観光案内所、市役所、アミューあつぎ、中央図書館などで配布しています。訪れた場所の写真やビンゴの様子をインスタグラムで投稿すると、市の特産品が当たる抽選にも応募できます。

「よりみち、厚木。」をテーマに市内を歩しながら魅力を再発見できる体験型イベント「厚木よりみちビンゴ」を、1月31日まで開催しています。ビンゴカードに描かれた場所や物を巡り、発見・体験をしながら、気軽に参加できます。

隊員たちは難易度の高い車両の破壊作業や道路上を想定した実践的な訓練を経験し、緊急時の現場で求められる迅速かつ的確な活動と連携を強化しました。

## 国道246号の多重事故を想定

日産GT-Rも使用し3市消防が合同訓練

国道246号での多重事故に備え、厚木・伊勢原・秦野市の消防が11月25日、日産自動車テクニカルセンターで合同訓練を実施しました。

訓練は、乗用車3台が関係する追突事故を想定。3市の救助隊が連携し、要救助者を救出する流れを確認しました。車両が大きく損傷した状況を想定した救助訓練や、事故時の対応力向上を目的とした自動車の破壊訓練を実施。訓練車両には「NISSAN GT-R」や国内未発表の大型SUV「パトロール」、電気自動車「アリア」が使用されました。



救助訓練の様子



2種類のビンゴカード

## 70周年 みんなで祝おう！

2025年2月1日、市制施行70周年を迎えました。節目の年を皆さんとお祝いするため、スポーツ・文化芸術・歴史など幅広い分野で事業を実施。連載では、旬な話題を紹介していきます。

### 今月の話題

あつぎのあゆみ展を開催

まちの歴史や風景の移り変わりを写真や映像で紹介する「あつぎのあゆみ展」をアミューあつぎで開催し、約2500人の方が来場しました。



厚木の今と昔の写真を展示

会場で放映した、「市制施行10周年記念映画」を市公式YouTubeで公開しています。当時の風景や様子が分かる貴重な映像ですので、ぜひご覧ください。

記念事業やイベントなどの情報は、市制70周年記念サイトをご覧ください。



企画政策課 ☎225-2450

## より信頼される議会を目指して



市議会議長 瀧口 慎太郎

輝かしい新春を、お迎えのこととお喜び申し上げます。日頃から市議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年8月に議長に就任し、5カ月が経過しました。この間、多くの市民の皆さまから、市議会への期待の声を伺ってまいりました。

本年も市民の皆さまが安心・安全に生活できますよう、行政との連携を図ってまいります。さらに、議会からの積極的な政策提言、提案を実施し、議会機能の強化などの議会改革も、スピード感をもって進めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、実り多き年になりますとともに、皆さまのご健勝を祈念いたしまして、新年のあいさついたします。

## あつぎ市議会だより発行



年に5回「市議会だより」を発行し、本会議の議案概要や審議結果、一般質問の要旨などを掲載しています。

表紙は、市民の皆さまからの写真を使用しており、イベントや風景など、厚木らしさを感じる一枚を募集しています。

## 議会の様子を映像で配信

インターネットで議会の様子を生中継しています。過去の会議も議事録ができるまでの間、録画放送を配信。パソコンやスマートフォンから視聴できます。

市議会の情報は ▶ 市HPへ



議会総務課 ☎225-2700



# タウンガイド

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 ☎=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業  
 愛TV 1/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「冬を彩る光」

#12月12日撮影  
 #イルミネーション  
 #厚木中央公園  
 #niceatsugi  
 市公式インスタグラムで公開中



## 2313人の門出を祝福 はたちのつどい

20歳の節目を迎える皆さんの輝く未来をお祝いします。

テーマ 「縁」未来へ紡ぐ道

**日時** 1月12日 ①10時30分～②14時～（各回60分）  
**会場** 文化会館  
**内容** 式典や抽選会、ビデオレターなど  
**対象** 市内在住・出身の2005年4月2日～06年4月1日生まれの方（対象者には12月3日に招待状を郵送。詳細は市HPに掲載）



詳細はこちら

☎青少年課 ☎225-2580

### 厚木障がい者就職面接会

1月28日、13時～16時30分。あつぎ市民交流プラザ。8事業者による障がいのある方を対象とした就職面接会。定員64人。無料。☎ハローワークで求職登録後、直接または電話で1月13日からハローワーク厚木・専門援助部門 ☎296-8609へ。先着順。☎障がい福祉課 ☎225-2225。

### あつぎストリートフェス（市民協働提案事業）

1月17日、16時30分～18時30分。中町花の公園。路上ミュージシャンのストリートライブ。無料。☎不

要。☎文化魅力創造課 ☎225-2508。

### 緑のまつり協賛・広告を募集

5月9・10日に開催する緑のまつりの趣旨に賛同する協賛・広告主を募集します。

《協賛》一口1万円。会場内に協賛企業などの名称を掲示。

《広告》3万円。ステージ下前面パネル（0.9m×1.5m）に4社まで掲載。

いずれも☎公園緑地課や公民館、市HPにある申請書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで1月5日～2月27日（必着）に〒243-8511公園緑地課 ☎225-2412・FAX 225-3027・✉4800@city.atsugi.

kanagawa.jpへ。広告は先着順。詳細は市HPに掲載。

### 市民ふれあいマーケットの出店者募集

家庭で不用になった品物を販売する出店者を募集します。

《日時》3月8日（雨天中止）、9時30分～14時《場所》厚木中央公園《販売内容》日用雑貨や衣料品など（手作り品、食品、動植物は不可）《対象》市内在住の方92組（高校生以下は不可）《出店料》500円。☎往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、Eメールアドレス、販売品目、自動車の有無（1店舗1台まで）・車種・ナンバー、返信先を書き、1月31日（消印有効）までに〒243-8511環境事業課 ☎225-2793へ。1組1応募まで。抽選。

### 本厚木駅連絡所の臨時休業

1月20・21日は駅ビル休館のため、連絡所・観光案内所業務を休業します。☎連絡所＝市民課 ☎225-2110・観光案内所＝商業観光

課 ☎225-2820。

【訂正】12月15日号・6面に掲載した「年末年始のお知らせ」の医療体制で、1月1日の外科・第1当番病院の表記に誤りがありました。正しくは東名厚木病院 ☎229-1771です。おわびして訂正します。

## みんなの声でまちをつくる

### 《意見交換会》

■市セーフシティ推進条例制定・セーフシティあつぎ推進基本計画策定

2月2日、18～19時。市役所第二庁舎。☎不要。手話通訳・要約筆記あり。☎くらし交通安全課 ☎225-2865。

■市耐震改修促進計画の改定

1月20日、19～20時。市役所第二庁舎。☎不要。☎建築指導課 ☎225-2434。

厚木市 市民参加

検索

募集

皆さんの目線で情報発信

愛TV 1/1~

市民リポーター

市のイベントやお知らせなどを伝えるリポーターを募集します。一緒に厚木の魅力を発信しませんか。

**活動内容** リポーター＝市広報番組のレポートなど  
 カメラマン＝イベントや風景などの撮影  
 モデル＝広報紙などの写真モデル  
 司会＝イベントでの司会進行

**対象** 市内在住在勤在学の18歳以上20人程度  
**任期** 4月1日から2年間  
**報酬** 1回2千～1万円

☎志望動機・希望の活動内容を書いた履歴書を、直接または郵送で1月31日（必着）までに〒243-8511広報シティプロモーション課へ。市公式LINEまたは市HPにある電子申請システムからも申し込み可。書類選考・面接あり。



詳細はこちら

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

**ホット** インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

### 12月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆シクラメンの色がとてもきれいで季節が感じられた。厚木の特産品も知れてよかった／50代女性 ◆一人一人が交通事故ゼロを意識して行動すべきだと思う／40代男性 ◆悩みがある方の相談相手がいることが大切だと思った／40代女性 ◆新しくできた「あつあいクリーンセンター」を見学してみたい／70代以上男性 ◆市出身で活躍するアーティストやスポーツ選手がたくさんいてうれしかった／20代女性

## 編集後記

華々しいキャリアを築かれている名取さんですが、その根底には、高校時代の友人との強い絆があることが伝わってきました。「友達は大変」という言葉が、特に印象に残っています。今も変わらず友人を大切にされている姿から、周囲に支えられながら歩んできたのだと感じました。新年を迎え、久しぶりに友達と再会した際には、面と向かって「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいと思います／佐々木



詳細はこちら



市制70周年記念展

寿  
—毛利家と共に—

市にゆかりある戦国大名・毛利氏との歴史的なつながりが分かる特別展を開催します。毛利博物館（山口県防府市）や山口県立山口博物館（山口市）などに収蔵されている掛け軸など約25点を展示します。

問あつぎ郷土博物館☎225-2515 詳細はこちら

期間

1月24日～3月1日

会場

あつぎ郷土博物館

関連講座

■長州藩毛利家の歴史と文化  
日時 1月25日 13時30分～15時30分  
内容 毛利博物館館長による収蔵資料などの解説

■旧毛利領国の怪談話  
日時 2月8日 13時30分～15時30分  
内容 小泉八雲のひ孫による八雲とセツの物語

■現代の殿様・毛利家あれこれ話  
日時 3月1日 13時30分～14時30分  
内容 徳山毛利家の14代目当主による支藩と本家の関係などの解説

いずれも各回80人。無料。各回開催日10日前までに電話または講座予約システムで申し込み。抽選。

関連イベント

●物販販売  
日時 1月24・25日、2月7・8・11・14・15日 13～16時  
内容 防府市・厚木市の特産品を販売

●毛利博物館からのギャラリートーク  
日時 2月11・14・15日 13時30分～（14日は11時～。各回30分）  
内容 毛利博物館の展示資料の解説

◆ワークショップ「<sup>まがたま</sup>勾玉作り」  
日時 2月21・28日 13時30分～16時  
内容 石を削り勾玉を作る 費用 1セット200円

いずれも●無料。各●不要。開催日10日前までに電話または講座予約システムで申し込み。抽選。

祝新春  
出初式  
実行委員会

70th

消防出初め式

新年の始まりに消防出初め式を開催します。消防署や消防団などが迫力ある演技を披露します。

問警防課☎223-9368

内容 古式消防保存会・消防署の演技、車両分列行進、消防団一斉放水など

各不要。直接会場へ。

日時

1月11日  
10時～

会場

荻野運動公園

※当日は7時にサイレンを鳴らします。

自然歳時記

●キチジョウソウ●  
キジカクシ科

高さ10～30センチの草本。暖地の林内に生える常緑の多年草。葉は、細長く10～40センチの線形で3～8本付く。穂状花序で雄しべは6本で美しい／飯山で見つけた。

写真・文／吉田文雄

林内に生えるキチジョウソウは、穂状に連なり薄ピンク色の花が咲く。花被片が反り返り、雄しべが良く目立っている（円内の写真）。何とも言えない清楚な香りがして、とても美しく気品がある。

名の由来は、なかなか咲かなかった花が、吉事があると咲くという伝説によるらしい。花期は秋頃であるが、今年は気象の影響などによるものなのか、新年にふさわしく美しく咲き続けている。

キチジョウソウ（吉祥草）は、縁起の良い花である。この花にちなみ、こどもたちの平和で美しい未来を願ってやまない。

厚木市の人口  
(12月1日現在)

世帯数

10万7291世帯（前月比13世帯増）

人口

22万2632人（前月比131人減）男11万4793人・女10万7839人